TADOKU JUNIOR　イギリスの昔話　★★★☆☆ ふつう　330語

# Teeny-Tiny

## ちっちゃなちっちゃなおばあさん

Joseph Jacobs（1890年の本）　**原文そのまま**　朗読：Joy Chan

人の声の朗読
を聞く・Web版

**どんなおはなし？**　ちっちゃなちっちゃなおばあさんが、さんぽのとちゅうでちっちゃなほねを見つけて家に持ち帰ります。夜、戸だなの中から声が聞こえてきて……。



Once upon *a* time there was *a* teeny-tiny woman lived in *a* teeny-tiny house in *a* teeny-tiny village. Now, one day this teeny-tiny woman put on her teeny-tiny bonnet, and went out of her teeny-tiny house to take *a* teeny-tiny walk. And when this teeny-tiny woman had gone *a* teeny-tiny way she came to *a* teeny-tiny gate; so the teeny-tiny woman opened the teeny-tiny gate, and went into *a* teeny-tiny churchyard. And when this teeny-tiny woman had got into the teeny-tiny churchyard, she saw *a* teeny-tiny bone on *a* teeny-tiny grave, and the teeny-tiny woman said to her teeny-tiny self, “This teeny-tiny bone will make me some teeny-tiny soup for my teeny-tiny supper.” So the teeny-tiny woman put the teeny-tiny bone into her teeny-tiny pocket, and went home to her teeny-tiny house.

Now when the teeny-tiny woman got home to her teeny-tiny house she was a teeny-tiny bit tired; so she went up her teeny-tiny stairs to her teeny-tiny bed, and put the teeny-tiny bone into a teeny-tiny cupboard. And when this teeny-tiny woman had been to sleep a teeny-tiny time, she was awakened by a teeny-tiny voice from the teeny-tiny cupboard, which said:

“Give me my bone!”

And this teeny-tiny woman was a teeny-tiny frightened, so she hid her teeny-tiny head under the teeny-tiny clothes and went to sleep again. And when she had been to sleep again a teeny-tiny time, the teeny-tiny voice again cried out from the teeny-tiny cupboard a teeny-tiny louder, “Give me my bone!”

This made the teeny-tiny woman a teeny-tiny more frightened, so she hid her teeny-tiny head a teeny-tiny further under the teeny-tiny clothes. And when the teeny-tiny woman had been to sleep again a teeny-tiny time, the teeny-tiny voice from the teeny-tiny cupboard said again a teeny-tiny louder,

“Give me my bone!”

And this teeny-tiny woman was a teeny-tiny bit more frightened, but she put her teeny-tiny head out of the teeny-tiny clothes, and said in her loudest teeny-tiny voice, “TAKE IT!”

## 和訳 ちっちゃなちっちゃなおばあさん（Teeny-Tiny）

むかしむかし、ちっちゃなちっちゃな村の、ちっちゃなちっちゃな家に、ちっちゃなちっちゃなおばあさんがすんでいました。ある日、このちっちゃなちっちゃなおばあさんは、ちっちゃなちっちゃなぼうしをかぶって、ちっちゃなちっちゃな家を出て、ちっちゃなちっちゃなさんぽに出かけました。ちっちゃなちっちゃなおばあさんが、ちっちゃなちっちゃな道のりを行くと、ちっちゃなちっちゃな門がありました。そこでちっちゃなちっちゃなおばあさんは、ちっちゃなちっちゃな門をあけて、ちっちゃなちっちゃな教会のおはかに入っていきました。ちっちゃなちっちゃなおばあさんが、ちっちゃなちっちゃなおはかに入ると、ちっちゃなちっちゃなはかいしの上に、ちっちゃなちっちゃなほねがありました。ちっちゃなちっちゃなおばあさんは、ちっちゃなちっちゃな心の中で言いました。「このちっちゃなちっちゃなほねで、ちっちゃなちっちゃな夕ごはんに、ちっちゃなちっちゃなスープを作りましょう。」そこで、ちっちゃなちっちゃなおばあさんは、ちっちゃなちっちゃなほねを、ちっちゃなちっちゃなポケットに入れて、ちっちゃなちっちゃな家に帰りました。

ちっちゃなちっちゃなおばあさんは、ちっちゃなちっちゃな家に帰りつくと、ちっちゃなちっちゃなぶんだけつかれていました。そこで、ちっちゃなちっちゃなかいだんを上がって、ちっちゃなちっちゃなベッドに行き、ちっちゃなちっちゃなほねを、ちっちゃなちっちゃな戸だなに入れました。ちっちゃなちっちゃなおばあさんが、ちっちゃなちっちゃなあいだねむっていると、ちっちゃなちっちゃな戸だなの中から、ちっちゃなちっちゃな声がして、目がさめました。声はこう言いました。

「わたしのほねをかえして！」

ちっちゃなちっちゃなおばあさんは、ちっちゃなちっちゃなぶんだけこわくなって、ちっちゃなちっちゃな頭を、ちっちゃなちっちゃなふとんの中にかくして、またねむりました。そして、またちっちゃなちっちゃなあいだねむっていると、ちっちゃなちっちゃな戸だなの中から、ちっちゃなちっちゃな声が、さっきよりちっちゃなちっちゃなぶんだけ大きな声で、またさけびました。「わたしのほねをかえして！」

ちっちゃなちっちゃなおばあさんは、さっきよりちっちゃなちっちゃなぶんだけこわくなって、ちっちゃなちっちゃな頭を、ちっちゃなちっちゃなふとんの中へ、ちっちゃなちっちゃなぶんだけおくまでかくしました。そして、ちっちゃなちっちゃなおばあさんが、またちっちゃなちっちゃなあいだねむっていると、ちっちゃなちっちゃな戸だなの中から、ちっちゃなちっちゃな声が、さっきよりちっちゃなちっちゃなぶんだけ大きな声で、また言いました。

「わたしのほねをかえして！」

ちっちゃなちっちゃなおばあさんは、さっきよりもうちっちゃなちっちゃなぶんだけこわくなりましたが、ちっちゃなちっちゃな頭を、ちっちゃなちっちゃなふとんから出して、ちっちゃなちっちゃな声でせいいっぱい大きく言いました。「持っていきなさい！」

## たんご と クイズ　ちっちゃなちっちゃなおばあさん

| | | |
|---|---|---|
| **woman** 女の人 | **house** 家 | **bonnet** ぼうし |
| **gate** 門 | **bone** ほね | **soup** スープ |
| **cupboard** 戸だな | | |

**Q1** おばあさんは、ほねで何を作ろうとしましたか？

① スープ　② パン　③ ケーキ

**Q2** 家に帰ったおばあさんは、ほねをどこにしまいましたか？

① ベッドの下　② なべの中　③ 戸だな

**Q3** さいごに、おばあさんは声に何と言いましたか？

①「ごめんなさい」　②「持っていきなさい！」　③「しずかにして」

**こたえ**

Q1 ① おばあさんは、ちっちゃなほねで夕ごはんのちっちゃなスープを作ろうと思いました。ところが、その夜……。

Q2 ③ おばあさんは、ちっちゃなほねを戸だなに入れてねました。すると夜、戸だなの中から声が聞こえてきたのです。

Q3 ② おばあさんはふとんから頭を出して、せいいっぱい大きな声で「持っていきなさい！」と言いました。

**原田英語の多読ベストジュニア**

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

**出典**　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #7439（Joseph Jacobs、1890年）。パブリックドメイン。
挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。
朗読（Web版）：Joy Chan（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは 3 重チェック。人の目でも順次確認しています。